



工芸

陶磁／漆・木工／金工／染織

伝統と革新の現場が、ここにある。
金沢で学ぶ、工芸の最先端。

伝統技術が生きるまちで
さまざまな素材と技術に触れることで、
つくり手の表現力を高めます。
時代の思考を適切にとらえる感性は、
新たな美を創出します。
新しい工芸の世界を拓き、
世界へつなげる架け橋となる力を育みます。

新しい工芸の世界を切り拓く人材の育成を目指します

工芸科では大学4年間の前半で各種伝統技法や素材について学び、特に工芸に対する知識と技術の習得を目指します。後半では「表現力と創造性」をキーワードとし、陶磁・漆・木工・金工・染織の各コースの特色をいかしながら相互に連携を保ち、専門課程を軸とした研究に取り組みます。本学士課程をとおして、世界に通ずる工芸作家やデザイナー、研究者、指導者を育成することを目指します。

学外活動



地域工芸演習II (産地研修)

伝統文化論(能楽)

伝統文化論(華道)

卒業制作展

1年次

「基礎と体験」ととらえ、工芸のあり方を模索します。

- | | |
|--------------|------------|
| 工芸演習(一) 描出演習 | 形態演習 |
| 色彩演習 | 写真演習 |
| 材料学演習(石膏) | 工芸概論I |
| 伝統文化論 | コンピューター演習I |

1年次は工芸の基礎を習得すると共に、陶磁・漆・木工・金工・染織の各コースを体验し広く表現力を養います。



材料学演習(石膏)



工芸演習(一) 陶磁



古美術演習



工芸演習(一) 漆木工



デザインプロセス



工芸演習(一) 金工



形態演習



工芸演習(一) 染織

2年次

「素材と技術」ととらえ、専門分野の知識と技術を養います。

- | | |
|----------------|------------|
| 工芸演習(二) 現代工芸論I | デザイン演習I |
| 古美術演習 | コンピュータ演習II |
| 地域工芸演習I (社会研究) | |

陶磁コース

2年生では陶磁の基礎と表現媒体としての土の可能性を学びます。3年生では造形表現とデザイン展開を実践的に学びます。九谷焼の土壤を踏まえた技術習得に加え陶磁器による新たなモノづくりを模索し続ける、時代を見据えた次世代の表現を切り拓く人を育成します。

3年次

「自己発見」の期間として、表現力と創造力を深めます。

- | | |
|-----------------|---------|
| 工芸演習(三) | 現代工芸論II |
| デザイン演習II | 複合素材演習 |
| 地域工芸演習II (産地研修) | |



漆・木工コース

2年生で漆芸の基礎を学び、3年生では素材や技法の展開と応用、さらに4年生では表現を目的とし、現代における漆・木工芸の可能性を探ります。また伝統や現代あるいは地域や文化など広い視野で時代を捉え、将来広く活躍し得る人材の育成を目指します。



金工コース

現代の生活や社会の環境、情勢など世の中の動きを見据えながら、金属の特性を活かした鋳金、鍛金、彫金技法を習得し、豊かな表現力を養います。マンツーマン教育を通じ、次世代を担う人材の育成を目指します。



染織コース

当地は加賀友禅の産地であり、また合成繊維の製造・加工に関して、質・量ともにトップレベルの産地です。本コースでは伝統から先端にいたる幅広い技術の習得、造形的表現やデザイン理論に軸足をおきながら、マンツーマン教育を通して新たな時代のモノづくりを目指します。



学内活動



デザイン演習II



複合素材演習



制作研究会

卒業後の進路・活躍

赤木明登うるし工房、アッシュ・ペー・フランス候、候アックス、石川県工業試験場、石川県立九谷焼技術研修所、石川県立山中漆器産業技術センター、石川県輪島漆芸美術館、候INAX、宇仁織維候、AMD候、大阪産業大学、鹿児島大学、上出長右衛門窯、ゲンゼ候、候ケイ・ウノ、劇団四季(四季候)、候小西美術工藝社、候サンゲツ、セーレン候、セイコーインスツル候、ソニーPCL候、高岡デザイン・工芸センター、竹内ブレス候、田崎真珠候、多治見陶磁器意匠研究所、候たち吉、tamaki niime、TBカワシマ候、東リ候、候とみひろ、富山県織維試験場、西川産業候、候ニッコー、NIWAKA、白山陶器候、候パンダイ、飛騨産業候、福井県工業技術センター、独立行政法人造幣局、本田技研工業候、候SUBARU、候二上、候保志アルテマイスター、候ミキモト装身具、候山崎麻織物工房、候ヨーガンレール、Los Angeles County Museum of Art、候ワコール、1-UPスタジオ候、スズキ候、候エーアンドエス、匠業大竹仏壇製作所、金沢卯辰山工芸工房[受賞・発表]アートアワードトーキョー丸の内2012 シュウエムラ賞、第50回日本クラフト展 日本クラフト大賞・経済産業大臣賞、2012伊丹国際クラフト展(酒器・酒盃杯) 奨励賞(ユエアイ賞)、第45回伝統工芸日本工展新人賞、第39期国際瀧富士美術賞、第25回全国染織作品展奨励賞、新潟雪梁舍美術館「KOGEI 2021」(育成賞・審査員賞)、「KOGEI 2022」(大賞・審査員賞)、第78回金沢市工芸展(世界工芸都市宣言記念賞・工芸協会会长賞・青年会議所理事長賞・金沢市長奨励賞)、第14回現代手織物クラフト公募展 グランプリ・長野県知事賞

4年次

「創造性」をキーワードに、伝統に学び、新しい工芸の世界を開いていきます。

- 工芸演習(四)



門出 荒木 いちご
陶器、竹 H60×W50×D60cm



Clear my mind 新美 える結
漆、金粉、麻布、スタイロフォーム H120×W120×D20cm



Assembled forms #7, #14, #13 遠藤 加央里
陶器、釉薬、顔料 (左)H18×W16×D7cm (中央)H17×W24×D10.5cm (右)H22×W24×D7cm



BEYOND THE VISIBLE 岩田 加奈恵
鉄、銅、真鍮 H100×W240×D60cm



for 花井 円香
ブロンズ H30×W55×D37cm



左「Bloom」 右「Conceal」 清瀬 鈴
漆、繪、麻布、貝、卵殻、色漆、銀粉、金粉 (左)H10×W10×D10cm (右)H10×W10×D10cm



魚骨 矢賀 紀薙佳
絹布、デルクス染料 H175×W135×D1cm



うつせみ オウ さんさん
羊腸 H250×W180×D150cm 1個、H90×W60cm 5枚